

今月は「コップてじな」

コップと水をつかって手品をしてみましょう。水が入ったコップをとおして見ると物が歪んで見えたり、「魔法の粉」を入れると沈んでいた物が浮かんできたり……。まずは不思議な現象を楽しみ、どうしてそうなるか予想してから、たねあかしのページを読んで理解を深めてください。



しずんでいた ほうせきが うかんだ!

10▶11 ページ



ねらい 魔法の粉が何かを予想しながら、量を増やすと浮かんでいる物のようすが変化することに注目しましょう。

つかい方のポイント コップの水に浮かべる物を自分たちで考えて準備し、どんな物が浮かぶか、魔法の粉(塩)をどのくらい入れれば浮かぶかなど、実際に試してみるのもよいですね。

ページをめくると...

4▶5 から 6▶7 の展開例



いろいろなものを
みてみよう!

ねらい 歪んで見えたり、反対向きに見えたりと、物の見え方の不思議さに気づかせ、興味をもって楽しめます。

ふたつの コップは なにが ちがう?

14▶15 ページ



ねらい コップに同じように入れた色水が、それぞれ違う変化をする不思議さに気づかせましょう。

つかい方のポイント 食塩水の濃度の違いがポイントの手品です。コップや色水に入れる塩の量を調節したり、色水の色を変えたりと工夫しながら試し、変化するようすを楽しむのもよいですね。

あそびの展開例

とちゅうまで
みずを いれると
どうなるかな?

ねらい 一つひとつの写真をていねいに見ながら、見え方が変わるのはどうしてなのかを考えるよう促します。



つかい方のポイント 光の屈折による物の見え方の違いに注目します。実際に、水を入れたコップのうしろにさまざまな物を置いて、どのように見えるかを試してみるのもよいでしょう。

ねらい

自分たちで考えたコップ手品を披露し、友だちの前で披露できる楽しさを味わう。

遊び方 (子どもが経験すること)

グループに分かれ、コップや容器などを準備し、さまざまな手品を試してみる。自分たちがおもしろいと感じたもののなかから、披露する手品を考えて決める。

保育者の配慮

- 必要な物の準備 (コップ・塩など) をする。
- それぞれのグループで考えたことや、不思議な発見などを、友だちの前で披露する喜びを感じられるようにする。

「しぜん」を読めば答えがわかる!

今月の 扉ページのクイズ

- コップのうしろに えんぴつを おいて みずを いれると どんなふうに見える?
- みずと しおみずは どちらが おもい?
- しおみずに いろみずを おとすと どうなる?

◆◆◆ 来月号は「くも」です。お楽しみに!! ◆◆◆